

Rapid filtration system

B i o - L o g i c 社 製

高速ろ過装置 RFS-4



多くの実験に用いられるろ過技術は、フィルターとホルダー、吸入ポンプとピペット以外の高価な仕組みを必要としません。しかしどんなに慣れた研究者でも、この作業には数秒はかかってしまいます。それでは、流量測定やトランジェント特性解析は効率的には行えません。

RFS-4 (Rapid Filtration Sytem) はミリ秒単位でのろ過実験を初めて実現しました。更に、RFS-4はマイクロプロセッサ制御によりろ過実験を正確に繰り返すことができます。

また、クエンチフロー装置として、酵素とエフェクターの結合や、脂肪の輸送におけるキネティクスなどの処理を薬剤を使用せずに行えます。

様々な用途に対応

- ・ 酵素反応
- ・ 酵素分析 (自動化)
- ・ ラピッドキネティクス
- ・ 細胞膜生化学
- ・ イオン流動の測定
- ・ 分子薬学

パラメータの設定

実験のパラメータはデジタル表示されるので、オペレータは自由に値を入力できます。

ろ過時間は10m秒から10秒の間で調節可能で、時間誤差は数 $\frac{1}{10}$ 秒以内に抑えられます。また、手動でより長いろ過時間を設定することもできます。流量は10 μ lから10mlの範囲で設定できます。流量の誤差は1 μ l以内です。

使用するフィルター：

B i o - L o g i c 社製の異なる素材、密度のフィルター (直径25mm) を使用できます。ユーザーはろ過の用途に応じて、フィルターを選ぶことができます。

機械の操作：

RFS-4は、以下の部品で構成されています。

- (1) 着脱可能なフィルターホルダー
- (2) モーター制御のシリンジ
- (3) サンプルを取り付けるアダプター

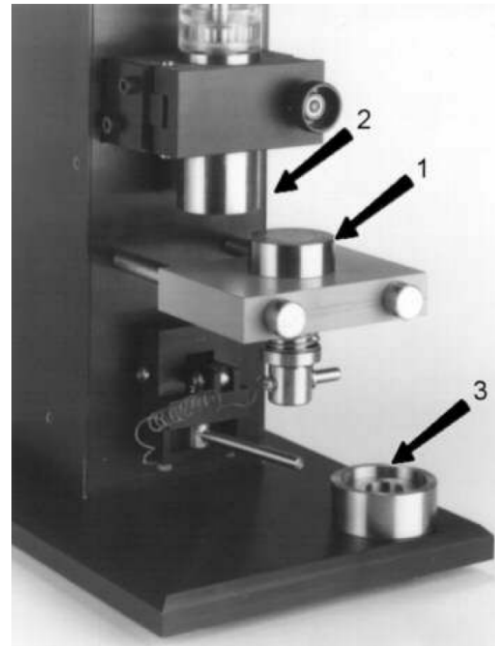
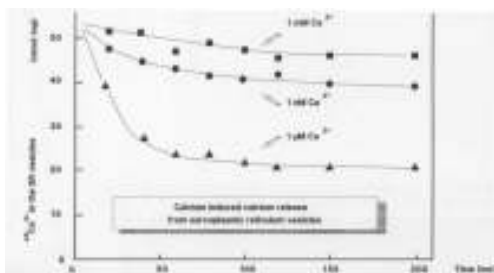


図1、部品名称

操作手順：

1. まずサンプルをアダプターに取り付けて下さい。（以降の手順は機械によって行われます。）
2. 強力な電磁石が作動し、フィルターホルダーをシリンジの底面に固定します。
3. シリンジの下部は透過性になっており、入力したパラメータに基づいてろ過が行われます。
4. ろ過液は、吸入ポンプによってシリンジからフィルターホルダーへと流下します。フィルターの含有量は通常のろ過実験同様に評価されます。



使用例

仕様	
シリンジ	25ml
材質	医療用ステンレス
ろ過時間	10 ^分 秒-10秒(自動)
流速	10 μ L/秒-10mL/秒
処理速度	最大流速で10 ^分 秒
自動/手動	切り替え可能
その他	ろ過時間、流速、流量をデジタル画面表示
電源	110-230V、50-60Hz
重量	12kg

■本カタログに記載された内容は、改良などにともない予告なしに変更する場合があります。

ollie 株式会社オーリー
〒599-8112大阪府堺市東区
日置荘原寺町400-4
TEL:072-285-0117 FAX:072-285-0119
URL<http://www.ollie.co.jp>
E-mail: information@ollie.co.jp